

菊水

家庭数配付 H P 掲載

令和7年9月10日発行

学校ホームページアドレス <http://www.kikusui-e.sapporo-c.ed.jp/>

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、今年度4月に6年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」を実施いたしました。この調査は、児童の学力や学習状況を把握することにより教育の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的として行われました。調査の結果を受け、全国的な状況との関係において、本校の調査結果の概要、課題、改善の方向についてお知らせします。なお、調査対象は6年生ですが、本校の教育の6年間における成果及び課題としてとらえ、今後の教育改善に役立てたいと考えております。

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

各教科とも改善の方向として、言語活動を中心とした子ども同士の学び合いを基本に、以下のような活動の充実を図る。

国語

【区分及び領域】

- ◆【思考力、判断力、表現力等】の「話すこと・聞くこと」の領域で、平均正答率が、全国平均より下回っている。
- ◆【思考力、判断力、表現力等】の「書くこと」「読むこと」の二つの領域で、平均正答率が、全国平均より下回っている。
- ◆【知識及び技能】の「言葉の特徴や使い方に関する事項」について平均正答率が、全国平均より下回っている。

- 目的や意図に応じて、話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。
- 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。
- 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。

- 知りたいことについて、知っていることや予想したこと、疑問に感じていることなどを聞く目的や意図に応じて内容ごとにまとめたり、互いに結び付けて関係を明確にしたりする学習活動の充実。
- 「何のためにその文章を書きたいのか」という目的を明確にもつことを大切に、その目的を達成するために、「何を書きたいのか」を整理し、書く内容の中心を決めて文章を書く学習活動の充実。
- 時間的な順序を表す言葉、時を表す言葉に着目し、その言葉に印を付けながら読んだり、大事な言葉を抜き出し、矢印でつないだりする学習活動の充実。
- 文章を書く際に、辞典を利用することを促す等、漢字を使うことを意識した活動の充実。

算数

【区分及び領域】

- ◆「数と計算」の領域で、平均正答率が全国平均より下回っている。
- ◆「図形」の領域で、平均正答率が全国平均より下回っている。
- ◆「測定」の領域で、平均正答率が全国平均より下回っている。
- ◆「データの活用」の領域で、平均正答率が全国平均より下回っている。

- 異分母の分数の計算をすることが出来る。
- 平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図すること。
- はかりの目盛りを読むことができる。
- 目的に応じて適切なグラフを選択して数量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できること。

- 通分の意味を理解し、異分母の分数の計算が確実にできるようにし、繰り返し計算練習することで習熟を図る。
- 作図の仕方と図形の性質を関連付けて、図形の性質についての理解を深めることができるようにする、習熟を図る。
- 最小目盛りの大きさが異なるはかりを用いて測定する活動を通し、何等分されているのかに着目させ、大きな目盛りや小さな目盛りの一目盛りが表している重さを捉えることができるようにする。
- 様々なグラフの特徴を理解し、目的に応じて適切なグラフを選択してデータの特徴や傾向を捉え判断し、その判断の理由を表現できるようにする。

理科

【区分及び領域】

- ◆A区分「粒子」を柱とする領域で、平均正答率が全国平均より下回っている。
- ◆B区分「生命」を柱とする領域、「地球」を柱とする領域で、平均正答率が全国平均より下回っている。

- 結果を見通して問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考え（予想）をもてること。
- 実験結果や情報を、問題の視点で分析して自分の考えをもち、その内容を記述すること。
- 見て、考えて、言葉で表現することを通して、より深く理解すること。

- 問題に対して根拠のある予想や仮説を立て、結果を見通して、解決の方法を発想する活動の充実。
- 実験観察などを行った結果を事実として分析し、考えたことを科学的な言葉を使用して表現する活動の充実。
- 観察、実験の結果や結論を、図に整理したり、言葉で説明したりするなど、知識と関係付けて理解を深めることを大切にしていく。

【全国の平均正答率と比較して、以下の基準でお伝えしています。】

- ・ +3.1 ポイント以上 ⇒ 「上回っている」
- ・ +3.0 ポイントの範囲内で全国平均以上 ⇒ 「ほぼ同程度であるが、やや上回る」
- ・ 全国平均と同じ ⇒ 「ほぼ同程度」
- ・ -3.0 ポイントの範囲内で全国平均以下 ⇒ 「ほぼ同程度であるが、やや下回る」
- ・ -3.1 ポイント以下 ⇒ 「下回っている」

児童質問紙調査結果より

「児童質問紙調査」…

学習意欲・学習方法・学習環境・生活の諸側面等に関する調査

◎相互承認(自己承認、他者への承認、他者からの承認等)に係る項目

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合(単位: %)

質 問 事 項	本校	全国
自分には、よいところがあると思いますか。	77.1	86.9
将来の夢や目標をもっていますか。	81.2	83.1
人が困っているときは、進んで助けていますか。	93.7	93.7
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。	75.0	70.6
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	93.7	96.4
学校に行くのは楽しいと思いますか。	89.6	86.5

*他者に対して優しく接しようとし、学校生活に楽しさや充実感を感じている児童もいます。ただ、自己を肯定的に捉えられない児童の割合が、全国との比較では大きな差が見られます。学校、家庭を問わず毎日の生活の中で、「自分に自信をもつことのできる経験(ねばり強い取組や充実感が伴う活動等)」を積み重ねていき、自己肯定感や有用感を高めていくことを大切にしていきたいと考えます。

◎主体的・対話的で深い学びに係る項目

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合(単位: %)

質 問 事 項	本校	全国
5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立て等を工夫して発表していましたか。	66.7	68.6
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	79.2	80.3
5年生までに受けた授業では、各教科等で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。	70.8	77.8
5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間等になっていましたか。	83.4	83.4
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができましたか。	83.3	84.9
学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の授業につなげることができましたか。	73.0	79.4

*普段の学習の様子と関連付けて考察すると、今後も基礎的な学力をしっかりと身に付けさせるとともに、主体的・対話的な学びをより一層充実させていく必要があると考えます。ねばり強く取り組む姿勢を身に付けさせながら、互いにかかわって学ぶような場をつくる等、話す力・聞く力を高められる学習を目指していきます。

◎全国と比較して本校の特徴的な傾向をあらわしている項目

(単位: %)

項 目	本校	全国
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。 ※「1時間以上」を回答した割合	33.3	54.0
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。 ※「30分以上」を回答した割合	23.0	31.1
これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありましたか。 ※「よくしていた」「ときどきしていた」と回答した割合	72.9	80.6

*本校の特徴的な傾向をあらわしている主な項目です。確かな基礎学力を身に付けていくためには、家庭での学習も大切にしなければなりません。また、読書や自然の中で過ごすことは、豊かな感性を育むことにつながります。できるだけスマートフォンやゲーム等の電子機器と向き合う時間が長くないようにしたいものです。子どもの様々な力を伸ばすためにも、今後とも、健やかな成長に向けての声掛けをお願いいたします。